

渡辺ふじお

いつでも現場主義!

杉並区政報告 Vol.36



音楽、アニメ、演劇… 若者の夢を みなで応援する街にしたい!

皆さんの周りにも音楽や演劇、アニメなどに関わっている知人や友人がいると思いますが、杉並は全国的にもアーティスト人口が多い街として有名です。私も初当選いらい、文化芸術の振興をライフワークの一つとしてきました。多くの若手ミュージシャンが住む高円寺。ミニシアターが多い阿佐ヶ谷には、役者を目指す若者がたくさんいます。「阿佐谷ジャズストリート」も24年目となり、年2回「荻窪音楽祭」が開催される荻窪はクラシックの街——。若者たちから話を聞くと、「活動資金がない」「練習や発表する場が少ない」との声が。「なんとか若者を応援できないか」と考え、区と折衝し実現したのが、区民が行う文化活動を資金的に支援する「文化芸術活動助成金(旧文化振興基金)」(2005年創設)。毎年さまざまな活動をサポートし喜ばれています。これからもいろんなアイデアを出して盛り上げていきたいと思っています。

渡辺ふじお



「阿佐谷ジャズストリート」

毎年10月末、10万人近いジャズファンが集まる「阿佐谷ジャズストリート」。私もスタッフとしてお手伝いし10年になります

アニメのまち杉並

日本のアニメ制作会社のなんと5分の1が杉並区に集積しています。こうした特徴を生かした街づくりを進める中、アニメの歴史や制作過程が学べる「杉並アニメーションミュージアム」の充実や、「創世のアクエリオン」の最終話に登場するゴールドアクエリオンの立像(高さ約3.5m)寄贈にもかかわってきました。



復興支援の「武者絵展」開催を推進

杉並区が復興支援している福島県南相馬市で伝統の相馬野馬追をモチーフに、著名な100人の漫画家、イラストレーターに武者絵を描いてもらい義援金を集めたことが始まりで、現在7回目。2018年から杉並区での開催を実現しました。2020年には東京オリパラの文化プログラムとして、アニメの大きなイベントを企画提案していますが、その目玉として武者絵作品900点と色紙数百枚を一斉に展示したいと思っています。



伝統文化の継承

「すぎ七寄席」

子どもたちに本物の古典芸能に触れてもらおうと、落語家さんを招いて14年間、杉七小おやじの会主催の寄席を開催しています。



「親子のための能楽鑑賞会」を開催

日本の伝統文化である能楽を杉並の子どもたちに伝えていきたいと、区内在住の観世流能楽師さんから相談を受け、「親子のための能楽鑑賞会」としてセッション杉並で開催しました。来年度は外国人向けの鑑賞会として開催予定です。



「日本手妻」の公演を実現～杉並区成人祝賀の集い(成人式)で

区内在住の若手・手妻師 藤山大樹さん(マジックのアジアチャンピオン、世界大会5位、海外公演・テレビ出演も多数)から古典芸能に関わる若手の育成についての要望を受け実現しました。



阿佐谷七夕まつりのハリボテを神戸新長田へ

阿佐谷パールセンターと、震災から復興した神戸新長田の大正筋商店街をつなぐお手伝いをさせて頂き、阿佐谷七夕まつりのハリボテを大正筋商店街へ飾ることができました。素晴らしい取り組みとして新聞等のメディアでも取り上げられました。



渡辺ふじお

いつでも現場主義!

杉並区政報告 Vol.36



忘れられない、あの光景

浸水被害2000世帯以上の

「杉並豪雨」(2005/9/4)

的確な対策で、浸水被害“ゼロ”へ

ゴーッと渦巻く濁流が住宅街を流れ、立っているのもやっと。善福寺川は氾濫し道路との境目もわからず、下水もあふれ200kg近いコンクリートの蓋を吹き上げる——とても現実とは思えない光景に愕然となりました。

私が駆け付けたのは荻窪2丁目周辺。停電で暗闇の中、お一人住まいの高齢者宅に向かうと中から「助けて下さい」との声が。ベッドすれすれまで浸水しているなか間一髪で間に合い、濁流の中をおぶって助け出すことができました。

2005年9月4日、杉並区を襲った時間雨量112ミリのゲリラ豪雨。区議会議員として災害対策に取り組む原点となる出来事でした。

以来、「雨は止められなくても的確な対策で確実に被害は減らせる」と水害対策の拡充に奔走。雨水を流し込む大規模調節池が10年がかりで設置され、下水の地下貯留施設も建設中。杉並区の浸水被害“ゼロ”を目指して、粘り強く水害対策を進め着実に前進しています。

渡辺ふじお



～これだけ進んでいます～

善福寺川調節池が完成

2016年9月、西田橋近くの「なかよし広場」に地下27メートル、直径60メートル、貯留量3万5000トンの善福寺川調節池が完成



下水地下貯留施設が建設中

荻窪2丁目「荻窪公園」地下に総延長560メートル、貯留量約2200トンの下水地下貯留施設が建設中



阿佐ヶ谷駅周辺に2400トンの貯留施設

2011年、阿佐ヶ谷駅前から中杉通り地下に2400トンの貯留施設が完成。現在、第2桃園川幹線の建設が始まっている



荻窪水害地域の緊急時駐車場の確保(松溪中学校、西田小学校、旧近衛邸他)(2013年10月)

河川監視カメラの設置と気象情報等の配信(気象情報・雨量情報・河川水位情報)の実現



善福寺川調節池のイメージ図

避難所となる学校体育館にエアコン設置へ

小中学校の教室へのエアコン設置はほぼ完了していますが、災害時の避難所にもなる小中学校の体育館は未設置です。田中区長に申し入れ、2019年夏までに都の予算を活用した全校設置が示されました。



杉並区議会議員 渡辺ふじお

杉並区政報告 (FDつうしん) Vol.36

昭和34年5月22日生まれ 59歳 大分県出身/東京農業大学卒業
日産フィナンシャルサービスを経て、平成15年4月区議初当選/現4期
区議会副議長、常任・特別委員会委員長等を歴任

自宅・事務所
〒166-0015 東京都杉並区成田東 5-3-15
TEL/FAX 03-5397-8799
HP <http://www.w240.net>
E-mail info@w240.net

- 区議会スポーツ振興議員連盟理事
- 東京都宅地建物取引業協会杉並支部顧問
- 杉並区陸上競技協会顧問

